

# 質疑・質問

3月定例会の  
主な質問項目

## 1 後藤武薫議員

- ① 財政問題
- ② 農業問題
- ③ 地域振興
- ④ 教育問題

## 2 安川哲生議員

- ① 市長の政治姿勢
- ② 学校統廃合
- ③ 耐震化
- ④ 山鳥坂ダム事業

## 3 山本光明議員

- ① 行財政関係
- ② 地場産業の育成
- ③ 運動施設整備
- ④ 医療問題

## 4 二宮 淳議員

- ① 鹿野川ダムトンネル洪水吐き
- ② AED
- ③ 生活保護費

## 5 中野寛之議員

- ① 市長の政治姿勢
- ② 松山自動車道の一部無料化
- ③ 子ども手当
- ④ 自殺予防対策

## 6 押田憲一議員

- ① 肱川橋の架け替え
- ② がんばるひと応援事業
- ③ 市民会館整備
- ④ 循環バス

## 7 西村 豊議員

- ① 農業問題
- ② 農家宿泊体験
- ③ 小型福祉バス
- ④ 住宅協会の清算計画

## 8 上田栄一議員

- ① 雇用・景気対策
- ② 地域医療
- ③ 市内の通信インフラ整備
- ④ 市内の交通手段

## 9 中野茂明議員

- ① 河川改修
- ② 肱川の水質
- ③ 循環バス

## 10 梅木加津子議員

- ① 集中改革プラン
- ② 学校給食センター建設
- ③ 次世代育成支援行動計画
- ④ 治水対策

## 11 梅木良照議員

- ① 予算と地域活性化
- ② 人事評価制度
- ③ イメージアップ戦略
- ④ 茶業の振興

## 12 梶田和美議員

- ① 介護事業
- ② 安全安心のまちづくり
- ③ 子育て支援
- ④ 予防ワクチンの助成

## 13 武田雅司議員

- ① 財政問題
- ② 集中改革プラン
- ③ 地域経済の活性化
- ④ 公共交通空白地の解消

## 14 宇都宮宗康議員

- ① 税・財政関係
- ② 養護老人ホーム
- ③ 高校実質無償化
- ④ 土地区画整理事業

## 予算編成方針

**問** 平成22年度当初予算編成方針について

**答** 義務的経費は扶助費の増加に加え、交通基盤の整備、生活環境の整備、また消防防災体制の充実、

福祉、保健の充実など多種多様な財政需要が引き続き生じています。景気の低迷が続く中、依然として厳しい財政状況であり、大洲市を元気にしたいという思いを込め、市民サービスの向上に努めるべく、施策の選択と集中により財源の効率的な配分に留意しました。歳入の状況については、市税や使用料などの自主財源の割合が26・3%と低い状況で、昨年度より2・7%減少しており、歳出の状況については、定員適正化計画及び公債費負担適正化計画の推進により、人件費と公債費は約5億4、000万円を削減しましたが、扶助費については子ども手当の給付費を計上したことにより、約6億2、000万円の大幅な増額となり、義務的経費は約8、500万円の増、歳出総額の50・7%を占めています。投資的経費については、学校耐震化による新谷小学校校舎建設事業や学校給食センター整備事業費など、約2億2、000万円増の約28億円を計上し、歳出総額の11・8%となっています。

## 市民会館整備

**問** 改修・建て替え計画について

**答** 市民会館は昭和43年11月に竣工以来40年余りが経過しており、特に、大ホールの子の改修については、建築以来交換等を行っておらず、シートのクッション性の低下等、経年劣化はもろろんのことながら、平均的な現代人の体型にフィットしないものとなっており、座り心地が悪く、また座席の前後のスペースも狭いことから、利用者の皆様から改善を要望する声が上がっているところです。その他



改修を行う予定の市民会館